

避難生活の中で感じていること、困っていること。除染や賠償、村の事業などについて聞いてみたいこと。ジャンルは問いません。皆さんの声をお聞かせください。



鈴木 四子さん(小宮)

敬老会にお呼ばれして懐かしい人に会えました。村の中学校の体育館だったので「せいせいするなあ」「やっぱりいいなあ」と皆で言い合っていました。

今年の敬老会は、6年ぶりに村内で開催しました。当日は、飯館中学校体育館に、343人もの皆さんにお越しいただき、お祝いをすることができました。誠にありがとうございました。

参加者の皆さんが、避難で離ればなれになってしまった友人や知人、親戚など、大勢の人との再会をしみじみと喜び合う姿が、会場のあちこちで見られました。また、村の良さを改めて感じたり、村での暮らしを思い出したりして、話題にされているようすも多くありました。

来年春には一部を除き避難指示も解除される予定です。どうかお体を大切にされ、来年の敬老会にも、ぜひ元氣な笑顔でお越しください。



佐藤 文良さん・瀧子さん (上飯桶)

やっぱり村の家はいいね。「いつかは帰れる」と思って1週間に1度は掃除に回っていました。自宅の方が良くなって、長期宿泊をしています。

家の掃除や手入れをしながら通ううちに、やっぱり家にいるのが良くなって、長期宿泊を始めたとお聞きしました。大工をしていた文良さんが自分で建てた家は、愛着もひとしおではないでしょうか。趣味のこけし作りも再開できるようになるといいですね。

現在、長期宿泊を申請しているのは151世帯・344人となっています(9月25日現在)。自宅の建て替えやリフォームを終えてから長期宿泊をしようと考えている人や、避難指示解除後の帰村を考えている人もあり、それぞれ家庭の事情に合わせた動きが進んでいると見受けられます。また、学校や仕事、通院の都合などで、すぐには帰村できない家庭も数多くあります。

長期宿泊では、避難指示解除に向けた準備を進め、課題に取り組むことも一つの目的です。お困りのことやお気づきのことなどあれば、遠慮なくお知らせください。長期宿泊に関するお問い合わせや申し込みは、村総務課企画係 ☎ 0244-42-1613までお願いします。

いいたて 歳時記 その18

夜わり

秋の彼岸になると、そろそろ夜が長くなるので、夕飯が済むと10時頃まで仕事をしました。そうした夜分の仕事を夜わりと言ったり、春の彼岸まで続きました。仕事は床にわら細工で、「細もじり」を作ったり、「わらじ」や「ぞうり」を作ったり、「わらじ」や「ぞうり」も、この時期に作りました。

家族の多い家などでは、数千足の小さなぞうりが、土間の天井などに見事にぶら下がっていました。ぞうりは、子ども達が学校への往復にはくので、いくらあっても足りなかったそうです。

戻す(戻依)は、しめのカヤから、60枚から80枚ほど作られたそうです。主には女の仕事をしました。

シユーズ(わらじ・ぞうり)やブーツ(わらくつ)やコート(みの)、さら

には日用品の数々も、

わらで作って使っていたのです。昔の人の手仕事は、本当に

すごい。まさに「ま

で」ですね。



背中あて 荷物を背負う時の緩衝材(クッション)。表と裏で編み方が異なります

参考：飯館村発行「飯館村史 第3巻 民俗」



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
鈴木 菜子ちゃん	憲太・里美	深谷
遠藤 翔心と翔くん	満・理恵	大久保・外内
高橋 華恋ちゃん	真也・望美	大久保・外内

すくすくと元気に育ってね



結婚おめでとう

氏名	出身地
佐藤 潤	二枚橋・須賀
鈴木 歩美	山形県

いつまでもお幸せに



おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 強	89	前田・八利木
高野 トシイ	98	大倉
熊久保 スセヨ	92	伊丹沢
小野 チウ	90	伊丹沢

ご冥福をお祈り申し上げます

(8月21日から9月20日までに届け出のあったものを掲載) ※ご家族に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民課へ申し出てください。

編集後記

60祭に向けて「村は遠暦」というフレーズを毎日聞いていたら、「村」に人格があるように思えてきてしまいました。村の人の笑顔や歌声があふれた60祭を、村はさっと心から喜んでくれたと感じます▼実行委員長を務めていただいた大越憲一區長会長も、60祭当日、大勢の人が行き交うようすに目を細めていました。「たくさん来てくれた。皆ふるさとを忘れていないんだね▼村の役場に通勤している、時折、息をのむほど美しい光景に出会います。黄金に実る稲田は見られず、除染の跡は痛ましい限りですが、色づく里山や、澄んだ星空に出会ったら、「大丈夫、きれいだよ。これからだね」と声をかけたくなりますよ。還暦おめでとう、大好きな飯館村。(星)